



「算数は楽しい！」と思えるように

教務主任 樋口 隆児

現在、学校教育では、主体的・対話的で深い学びを実現し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質能力を育成することが求められています。

島根小学校では、今年度から算数科の校内研究を始めました。研究のテーマは、

主体的な児童の育成を目指して

～問題解決型学習を中心にして児童が『自分で解きたい!』『友達に伝えたい』と思える授業の実現～

です。私たち教員は、子供たちに、

- ・算数の学習を楽しんでいると感じてほしい。
- ・算数の学習を通して、友達と学び合う楽しさに気付いてほしい。
- ・算数の基礎・基本をしっかりと身に付けてほしい。

と思っています。そのために、校内研究を通して、子供たちが「解いてみたい!」と思える問題を考えたり、友達と考えを伝え合う楽しさを感じられる授業づくりを行ったりする中で、授業改善を図っていきたくと考えています。

また、算数は、それまでの学習の積み重ねによって、できる、できないが大きく変わってくる教科の一つです。そのため、子供たちの実態に応じて、授業内容や展開を考え、授業内でも一人ひとりに合わせた言葉掛けや支援をしていく必要があります。

現在、島根小学校では、3年生以上の算数の授業において、習熟度別で授業を展開しています。レディネステストの結果をもとに、「前の学習内容も振り返りながらじっくり学びたい」、「得意な内容だからたくさん問題を解いたり、難易度の高い問題にも取り組んだりしてみたい」など、子供たち一人ひとりに合ったクラスで学べるようにしています。一時間の授業を大切にして、子供たちが授業のねらいを達成できるように努めています。

研究は、まだ始まったばかりで、我々教員も試行錯誤しながら進めているところです。引き続き、子供たちにとってより良い授業とは何かを考え、子供たち一人ひとりが、毎日の学習の中で一つでも「できた!」「分かった!」と思えるようにしていければと考えています。そして、「算数は楽しい!」と思える子供たちが一人でも多くなるように、引き続き、教職員一同、授業改善に努めていきます。